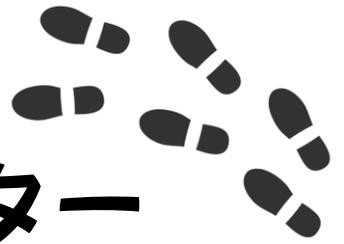




# 移住ビフォー→アフター



vol.19 広尾町 中村 麻矢 さん

## どうして広尾町(十勝)に?

コロナがきっかけで前職であるグルメライターの仕事から離れ、ある取材で食べた美味しいジビエの鹿肉処理をした猟師さんに弟子入りしました。当時、新婚ではありましたが、夫は自分が猟師になりたいと思っている時に会った人だったので、背中を押してくれました。

師匠が鹿を獲る所から食べる所までを教える仕事が大樹町であり、それに同行して初めて北海道を訪れました。修行の成果を師匠に見せたかったのですが、鹿を一頭も獲ることができず、モヤモヤした気持ちを抱えながら北海道を去りました。

リベンジしたい気持ちが大きくなっていくときに、広尾町のツーリズム団体が期間限定で広報を募集していることを知り、再び北海道に戻り何度も猟に出て、ついに自分一人で鹿を獲ることができました。初めて自分で鹿を獲ることができた広尾町で猟師を続けたい気持ちが強くなり、広尾町に移住することにしました。



## 広尾町の暮らしはいかがですか?

東京にはなんでもあるので、自分で何もやらず、お金で解決できる。お腹が減ったら自分で料理しなくても、デリバリーすればご飯が届く。それが都会の良さでもあります。広尾町に来てからは食材はたくさんもらうけど、完成品が無くて、自分で作らなきゃいけない環境になる。こっちに来てから料理の腕が格段に上がりました!今では料理人の夫にも料理を振舞ったりします。無いことを不便と感じるかもしれないけど、無いからこそ新しい発見があったりする。私は不便といわれるようなことをメリットに感じて楽しんでいます。

## 広尾町の暮らしで驚いたことは?

割とみんな、自分の家を知っています(笑)「家どこ?」と聞かれ、東京の時はある程度のエリアくらいの回答しかしなかったのですが、こちらでは「どの辺?」とか「誰の家の近く?」とか聞かれて、初めはすごく怖くて、うちに何しに来るんだろう...と思いました。

コロナに感染して一人で何もできず辛かった時に、ポストに差し入れがたくさん届いて、家を知ってるからこそ助けに来てくれたんです。初めは家を教えるのは怖かったけど、こうやってみんな手を取り合って生きているんだな~と田舎の共存システムを覚えました(笑)

# 移住を検討している方へのアドバイス

どうしても田舎独特の雰囲気があったり、肌に合うかどうかだったり、短期間でも過ごしてみないとわからないものがあります。身近な環境が本当に自分の肌に合うかどうかを知ることが先決だと思います。まずは、とりあえず1週間過ごしてみたいか、明らかな“何か”が浮かんでくるかもしれません。

完全移住はかなりハードルが高いと思います。私の場合は二拠点の選択肢があることで、ハードルがそこまで高くなく移住できました。一気に移住するのではなく、まずは別荘程度で過ごしてみるのもいいかもしれないですね。広尾町には空き家がたくさんあるのでいかがですか??

## 広尾町のお気に入りスポットのご紹介

### パティスリーウエダ (丸山通北1-12)

ケーキのお値段がお手頃価格で、いつもつつい買すぎてしまいます(笑)焼き菓子系も豊富で、レモンケーキがオススメ!



### 菊地ファームカフェ (野塚11線8番地4)

春はさっぱりしていたり、冬は生クリームのように濃厚だったり、季節によって味が変わる放牧牛の生乳を使ったソフトクリームがオススメ。ソフトクリームで季節を感じてみてください!



### フンベの滝(フンベ)

上に川が流れてるわけではないのに、崖の岩壁から地下水が流れ出ている滝です。朝方、狩猟に行くときに通りかかると、昆布漁師さんがその滝で昆布を洗っていて、最初は驚きました!今では漁師さんに挨拶をしてから猟に行くのがルーティーンです。

